

大分県長期漁海況予報

〔平成 23(2011)年 9 月～12 月までの海水温・漁模様の見通し〕



大分県農林水産研究指導センター水産研究部

879-2602 大分県佐伯市上浦大字津井浦 194-6

Phone0972-32-2155 Fax.0972-32-2156 <http://www.mfs.pref.oita.jp>

海況経過<平成 23 年 4～8 月>

■黒潮

都井岬では 4 月中旬まで離岸し、4 月中旬から 5 月中旬までは接岸傾向を示し、その後は概ね離岸傾向を示している。足摺岬では 5 月中旬まで概ね接岸傾向で推移し、5 月下旬から 6 月中旬は離岸傾向となり、その後は概ね接岸傾向を示している。

■水温

豊後水道の水温(0～75m層)は、概ね「平年並み」で推移しました。4月は「平年並み」、5月は「やや高め」になり、6月から8月は「平年並み」でした。(図2)。

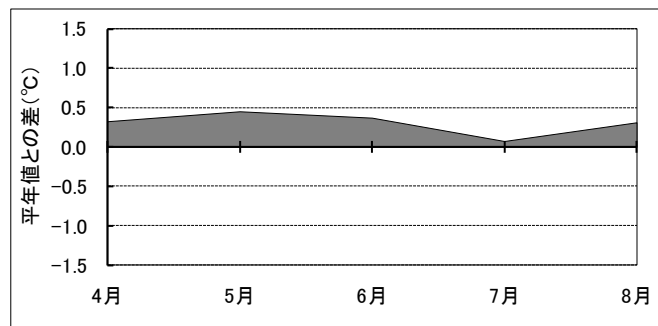


図2 豊後水道における水温の平年値との差(0～75m層の平均値)

■塩分

豊後水道の塩分(0～75m層)は、「やや低め」から「やや高め」で推移しました。4月と5月は「やや高め」、6月と7月は「やや低め」、8月は「平年並み」でした。(図3)。

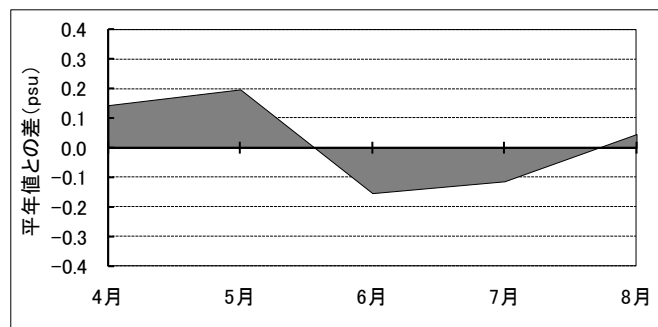


図3 豊後水道における塩分の平年値との差(0～75m層の平均値)

今後の海況の見通し〈平成 23 年 9～12 月〉

■黒潮

黒潮は、都井岬沖では、9 月は離岸傾向となり、10 月には接岸傾向となりますが、11 月には小蛇行の形成に伴い離岸傾向となるでしょう。足摺岬沖では、概ね接岸傾向ですが、都井岬沖の小蛇行が 9～10 月と 12 月に四国沖を東進するのに伴い離岸傾向となるでしょう。

■沿岸水温

「平年並み」～「高め」で推移するでしょう。

■予測の説明と根拠

- ・黒潮流路予測は平成 23 年度第 1 回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報(中央水産研究所及び関係府県:2011)を参考にしました。
- ・沿岸水温は気温の影響を強く受けると考えられるため、福岡管区気象台の「九州北部地方3ヶ月予報」では、9～11月の平均気温は「平年並み40%、高め40%」と予測していることから、そのように予測しました。

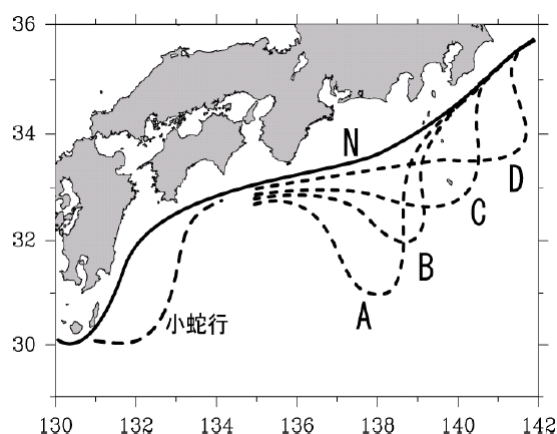


図 4 黒潮流型の分類

※上図は平成 23 年度第 1 回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報(水産庁プレスリリース資料)より引用

■マイワシ

2011年4～7月の漁況経過

2011年4～7月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるマイワシの漁獲量は、4月には漁獲はなく、5月に4トン、6月に58トン、7月には835トンの計897トンでした。前年比7956%、(用語解説①) 平年比41%と、前年を大きく上回る豊漁でしたが、平年を下回っていました。

漁獲の主体は、7月に佐伯湾で漁獲された被鱗体長(用語解説②)13.5～13.9cmにモード(用語解説③)をもつ0歳魚でした。

なお、近隣海域(用語解説④)でも豊漁となっています。

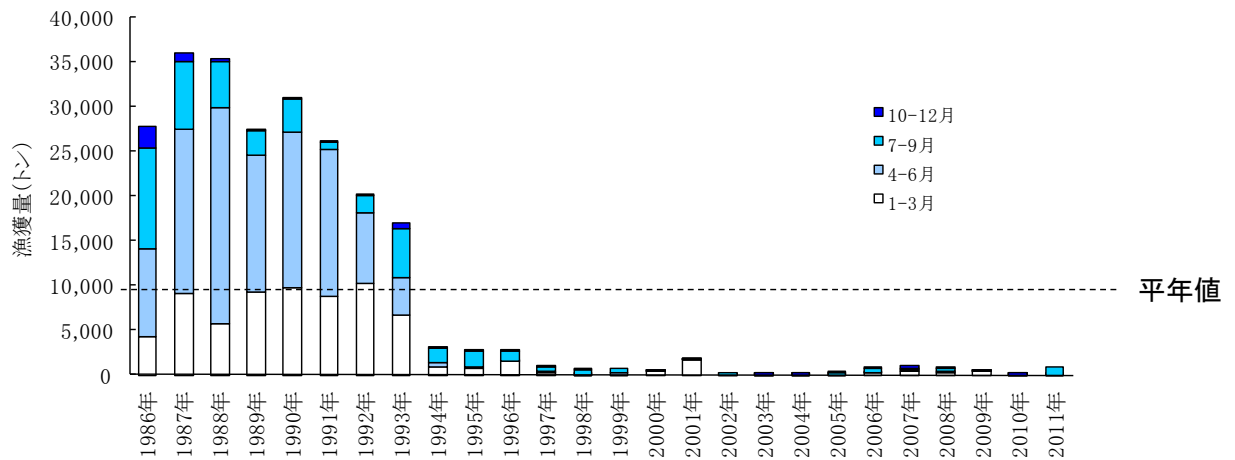


図5 マイワシのまき網における漁獲量(鶴見・米水津・蒲江支店)

今後の見通し<平成23年9～12月>

来遊水準:

豊後水道への来遊量は漁獲のほとんどなかった前年を上回るでしょう。



漁獲対象年級群及び体長:

9～12月は被鱗体長12cm～18cm前後の0歳魚(2011年生まれ)漁獲の主体となるでしょう。

近年の調査結果によれば、9月は漁獲が少ないながら見込めますが、10～12月は漁獲がほとんど望めないでしょう。

【説明】

予測期間中の漁獲主体となる0歳魚(2011年生まれ)の資源水準は、2011年1～3月の日向灘～紀伊水道海域(大海区Ⅲ)におけるマイワシの産卵量が前年を上回ったこと(前年比131%)、本県における4～7月のまき網の漁獲量が前年を上回っていること。近隣海域においても豊漁であったことから前年を上回ると考えられます。

そのため、来遊水準は平年と比べると依然として低水準ではありますが、前年を上回るでしょう。

■カタクチイワシ(成魚)

□2011年4～7月の漁況経過

2011年4～7月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるカタクチイワシの漁獲量は、4月に7トン、5月に5トン、6月に512トン、7月に493トンの計1,017トンでした。前年比77%、平年比89%と、前年・平年を下回る漁となりました。

漁獲の主体は、6月には被鱗体長8.5～8.9cm、7月には被鱗体長11.5～11.9cmにモードをもつ1歳魚(2010年生まれ)が佐伯湾及び豊後水道で漁獲されていました

なお、近隣海域でも不漁となっています。

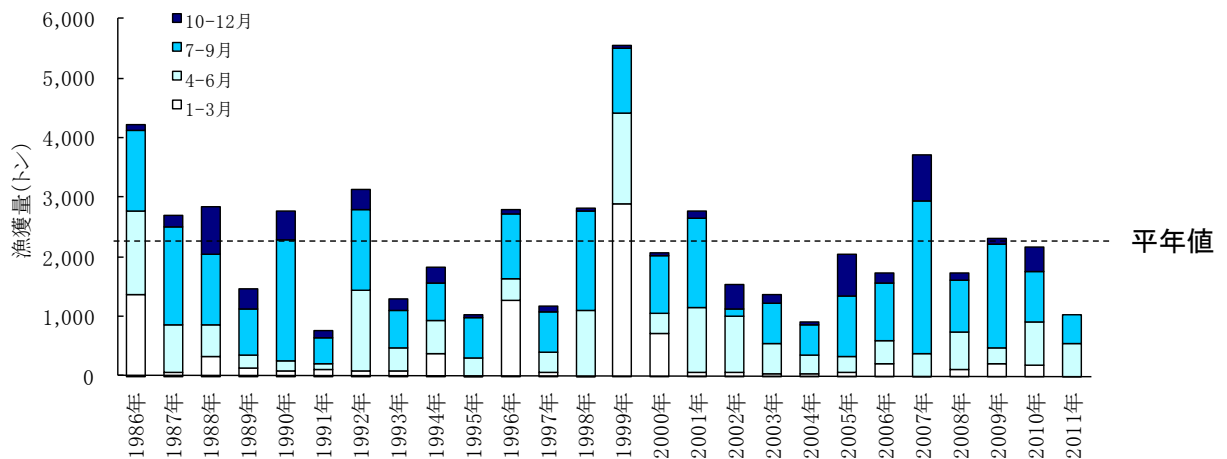


図6 カタクチイワシのまき網における漁獲量 (鶴見・米水津・蒲江支店)

今後の見通し<平成23年9～12月>

来遊水準:

豊後水道への来遊量は、前年を下回るでしょう。



漁獲対象年級群及び体長:

9月は0歳魚(2011年生まれ)と1歳魚(2010年生まれ)が混じり、10～12月は被鱗体長4～9cmの0歳魚(2011年生まれ)が主体となるでしょう。

【説明】

予測期間中の漁獲主体となる0歳魚(2011年生まれ)の資源水準は、2011年1～3月の北薩～豊後水道におけるカタクチイワシの産卵量が前年を下回ったこと(前年比2%)、また、豊後水道(佐伯湾)における2011年4～6月のシラス漁が前年・平年と比較して不漁であることから、前年を下回ると考えられます。また、1歳魚(2010年生まれ)の資源水準は、昨年10月以降の漁況経過からみて、前年を下回ると考えられます。

以上のことから判断して、来遊水準は前年を下回るでしょう。

■ウルメイワシ

□2011年4～7月の漁況経過

2011年4～7月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるウルメイワシの漁獲量は、4月に0.1トン、5月に1トン、6月に121トン、7月に666トンの計788トンでした。前年比126%、平年比49%と、前年を上回り、平年を下回る漁となりました。

6月には被鱗体長8.5～8.9cm、7月は被鱗体長11.0～11.4cmにモードを持つ0歳魚(2011年生まれ)が漁獲の主体となりました。また、豊後水道では20.0～23.0cm程度の1歳魚(2010年生まれ)の漁獲がみられました。

なお、近隣海域では好漁となっています。

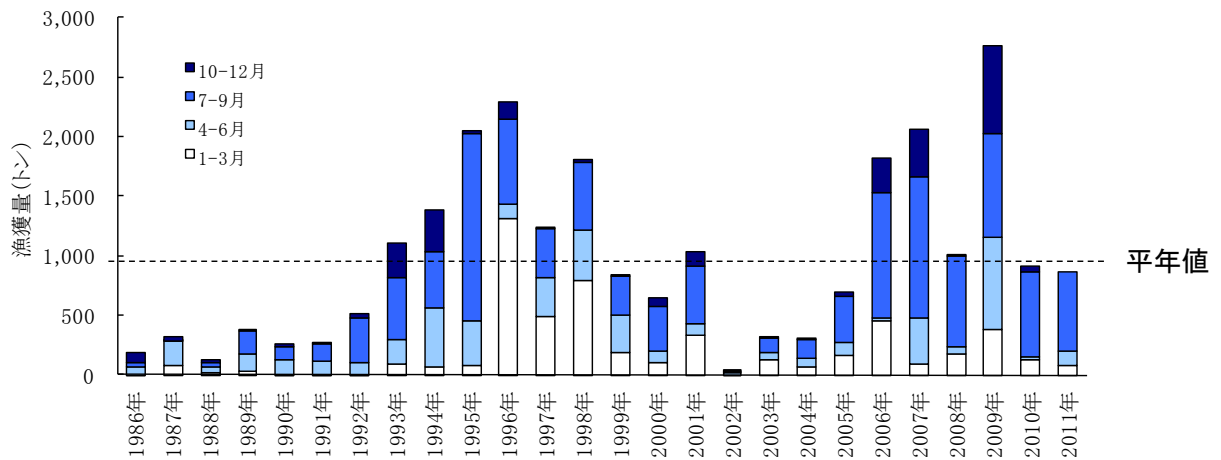


図7 ウルメイワシのまき網における漁獲量(鶴見・米水津・蒲江支店)

今後の見通し<平成23年9～12月>

来遊水準:

豊後水道への来遊量は、前年を上回るでしょう。



漁獲対象年級群及び体長、漁期、漁場:

9～12月は被鱗体長7～17cmの0歳魚(2011年生まれ)が漁獲の主体となるでしょう。

【説明】

漁獲の主体となる0歳魚(2011年生まれ)の資源水準は、本県における4～7月の漁獲量(0歳魚主体)が前年を上回ったこと、近隣海域でも好漁であることから、前年を上回ると考えられます。そのため、来遊水準は前年を上回るでしょう。

■マアジ

□2011年4～7月の漁況経過

2011年4～7月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるマアジの漁獲量は、4月に117トン、5月に18トン、6月に17トン、7月に13トンの計164トンでした。前年比357%、平年比17%と、前年を上回り、平年を下回る漁となりました。

6月は尾叉長^(用語解説⑤)17.5～17.9cmにモードをもつ1歳魚(2010年生まれ)に6.0～9.0cm程度の0歳魚(2011年生まれ)が混じりました。7月は7.0～7.4cmにモードをもつ0歳魚(2011年生まれ)を主体に、16.0～19.0cm程度の1歳魚(2010年生まれ)が混じりました。

なお、近隣海域ではいずれも前年を上回り、平年を下回る漁となっています。

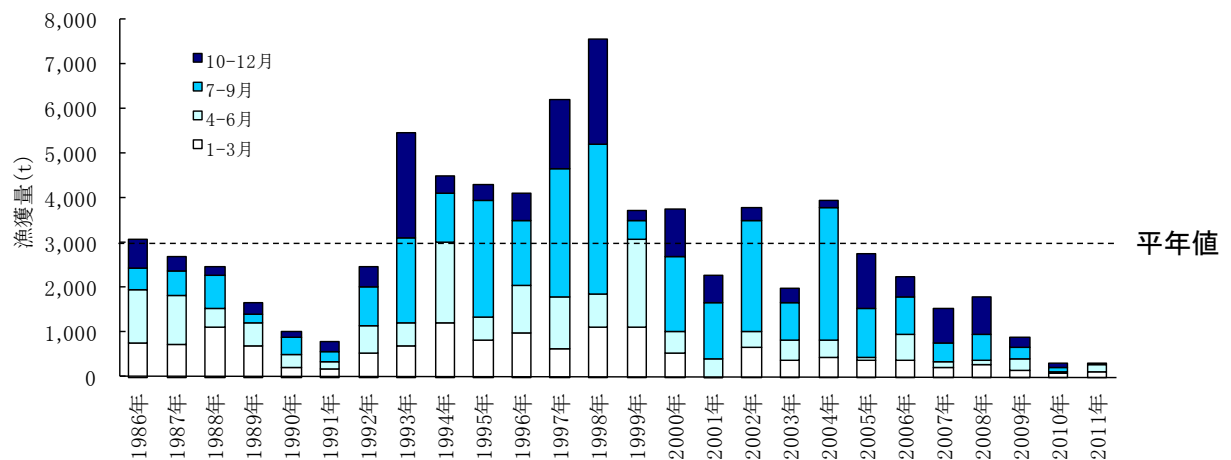


図8 マアジのまき網における漁獲量(鶴見・米水津・蒲江支店)

今後の見通し<平成23年9～12月>

来遊水準:

豊後水道への来遊量は、前年並みでしょう。



漁獲対象年級群及び体長:

尾叉長8～18cmの0歳魚(2011年生まれ)が漁獲の主体で、1歳魚以上が混じるでしょう。

【説明】

漁獲の主体となる0歳魚(2011年生まれ)の資源水準は、0歳魚が入網の主体となる県南(鶴見・米水津・蒲江)の定置網での4月から7月のコアジ・マメアジの漁獲量が前年並み(96%)であったことから、前年並みと考えられます。そのため、来遊水準は前年並みでしょう。

■さば類

□2011年4～7月の漁況経過

2011年4～7月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるさば類の漁獲量は、4月に44トン、5月に414トン、6月に549トン、7月に295トンの計1,303トンでした。前年比31%、平年比68%と、前年・平年を下回る漁となりました。

6～7月は佐伯湾においてはゴマサバの割合が51%とマサバの割合が49%とほぼ半々にみられ、尾叉長15.0～20cm程度の0歳魚(2011年生まれ)が漁獲されました。また、豊後水道においては、ゴマサバが漁獲の主体で、28～33cm程度の1歳魚(2010年生まれ)が漁獲されました。

近隣海域でも、ゴマサバ主体に前年を下回る漁でした。

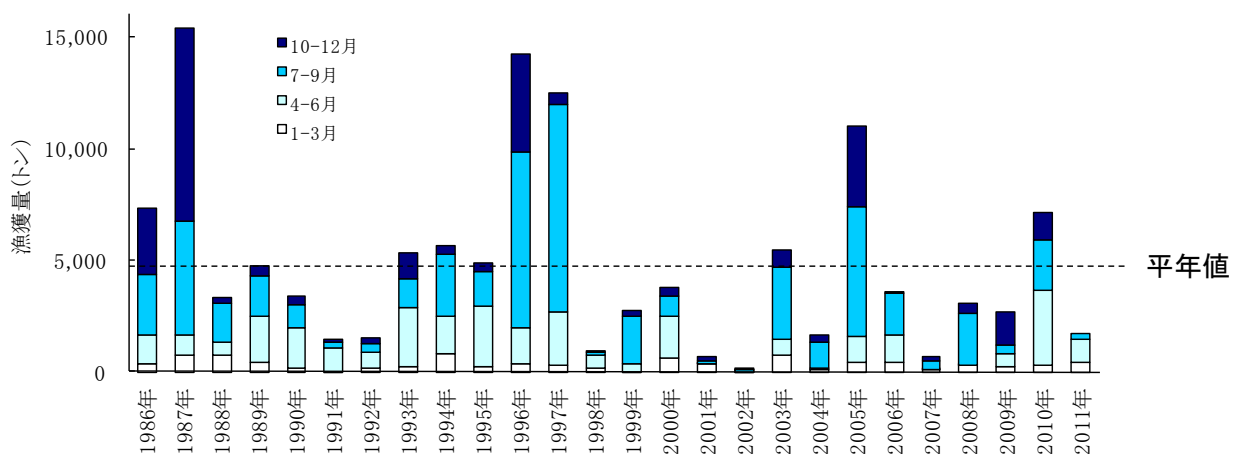


図9 さば類 (マサバ・ゴマサバ) のまき網における漁獲量 (鶴見・米水津・蒲江支店)

今後の見通し<平成23年9～12月>

来遊水準:

豊後水道への来遊量は、ゴマサバ主体に前年を下回るでしょう。



漁獲対象年級群及び体長:

尾叉長27cm前後のゴマサバの1歳魚(2010年生まれ)が漁獲の主体となり、2歳魚(2009年生まれ)以上が混じる程度となるでしょう。また、尾叉長20～25cmのマサバ0歳魚(2011年生まれ)が混獲される見込みです。

【説明】

予測期間中の漁獲主体となる1歳魚(2010年生まれ)の資源水準は、2011年4月から7月の漁況経過及び近隣海域の漁獲状況から前年を下回ると考えられます。そのことから、来遊水準はゴマサバ主体に前年を下回ると予測しています。

その他

■予測の根拠および参考資料

・平成23年度第1回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報(中央水産研究所及び関係府県:2011)

■用語解説

- ①平年比：1986～2010年までの比
- ②被鱗体長：体の前端から、尾柄の鱗で覆われている部分の後端までの直線距離。
- ③モード:度数の最も多い数値、階級値。
- ④近隣海域：ここでは、3県（宮崎県・愛媛県・高知県）の海域とする。
- ⑤尾叉長：体の前端から、尾びれの湾入部内縁中央(くびれている部分)までの直線距離。

■問い合わせ先

この予報に関する問い合わせ先は、大分県農林水産研究指導センター水産研究部 栽培資源チームまで。

〒879-2602 大分県佐伯市上浦大字津井浦194-6

電話:0972-32-2155

FAX:0972-32-2156